

# iFreePlus 世界トレンド・テクノロジー株 (Zテック20) 設定のお知らせ

2024年11月25日

このたび、大和アセットマネジメント株式会社（以下、「当社」）は、2024年12月11日に「iFreePlus 世界トレンド・テクノロジー株 (Zテック20)」（以下、「当ファンド」）を設定します。

なお、当ファンドはNISA成長投資枠※対象ファンドです。

※NISA口座でのお取扱いは販売会社により異なる場合があります。くわしくは販売会社にお問い合わせください。

## テックで時代を創る20社、ここに集結



[特集ページはこちら ▶](#)

### 【ファンド名】

iFreePlus 世界トレンド・テクノロジー株 (Zテック20)

### 【ファンドの目的】

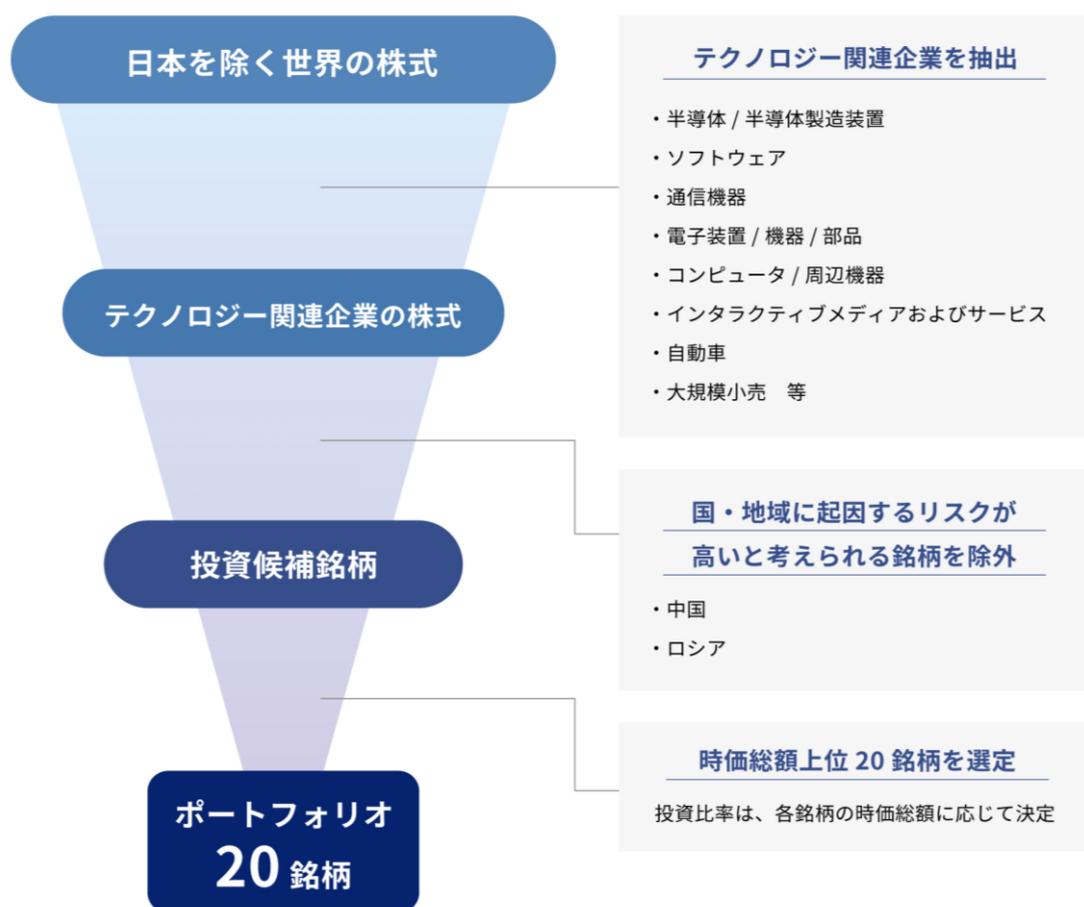
日本を除く世界の株式の中からテクノロジー関連企業の株式に投資し、信託財産の成長をめざします。

## ありそうでなかったテック株ファンド

当ファンドは、日本を除く世界のテクノロジー企業の中から、国・地域に起因するリスクが高いと考えられる銘柄を除外し、時価総額上位20銘柄に投資します。上位20銘柄への投資比率は、各銘柄の時価総額に応じて決定します。

ありそうでなかった、ルールベース運用のシンプルなファンドです。

### Ⅰ ポートフォリオ構築のイメージ



※3月末、9月末基準で銘柄入替を実施します。  
ただし、時価総額上位になることが予想されるテクノロジー関連企業が新規上場する場合、基準月に関わらず銘柄入替を実施する可能性があります。  
また、上記イメージは目論見書作成時点のものであり、今後変更される可能性があります。  
※効率性の観点からETF（上場投資信託証券）に投資する場合があります。

## iFreePlus とは…

ルールベース運用で「ちょっぴりユニークな投資アイデア」を実現するファンドシリーズです

## 組入銘柄一覧（シミュレーション）

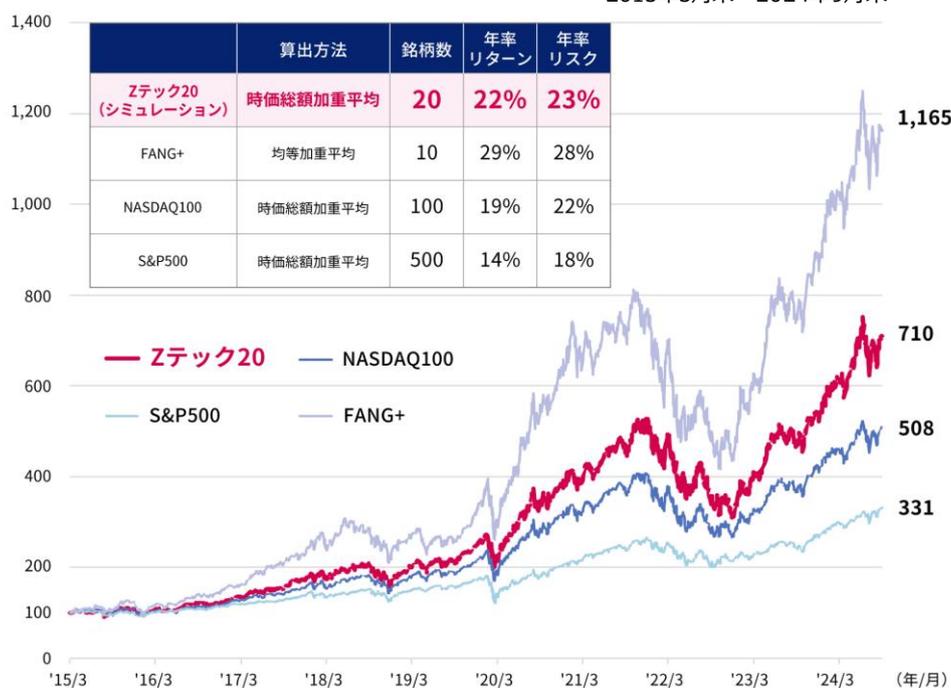
2024年9月末時点

	銘柄名	業種	上場市場	組入比率 (%)
1	アップル	情報技術	NASDAQ	17.3
2	マイクロソフト	情報技術	NASDAQ	15.6
3	エヌビディア	情報技術	NASDAQ	14.5
4	アルファベット	コミュニケーション・サービス	NASDAQ	10.0
5	アマゾン・ドット・コム	一般消費財・サービス	NASDAQ	9.5
6	メタ・プラットフォームズ	コミュニケーション・サービス	NASDAQ	7.1
7	テスラ	一般消費財・サービス	NASDAQ	4.1
8	ブロードコム	情報技術	NASDAQ	3.9
9	台湾積体回路製造 (TSMC)	情報技術	台北証券取引所	3.8
10	オラクル	情報技術	NYSE	2.3
11	ASMLホールディング	情報技術	ユーロネクスト	1.6
12	SAP	情報技術	クセトラ	1.4
13	サムスン電子	情報技術	韓国取引所	1.4
14	アドバンスト・マイクロ・デバイセズ	情報技術	NASDAQ	1.3
15	セールスフォース	情報技術	NYSE	1.3
16	アドビ	情報技術	NASDAQ	1.1
17	シスコシステムズ	情報技術	NASDAQ	1.0
18	クアルコム	情報技術	NASDAQ	0.9
19	テキサス・インスツルメンツ	情報技術	NASDAQ	0.9
20	サービスナウ	情報技術	NYSE	0.9

※業種名は、原則としてS&PとMSCI Inc.が共同で作成した世界産業分類基準（GICS）によるものです。  
 ※上記シミュレーションはあくまでも参考のために掲載したものであり、個別企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに組入れることを示唆・保証するものではありません。

## Zテック20と主要な米国株価指数の推移

2015年3月末～2024年9月末



※2015年3月末を100として指数化

※各指数は配当込み、米ドルベース

※上記シミュレーションは、あくまでも参考のために掲載したものであり、当ファンドとは異なります。また、当ファンドの将来の成果を示唆・保証するものではありません。

(出所) ブルームバーグより大和アセットマネジメント作成

## iFreePlus世界トレンド・テクノロジー株 (Zテック20)

※お申込みの際は、必ず「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

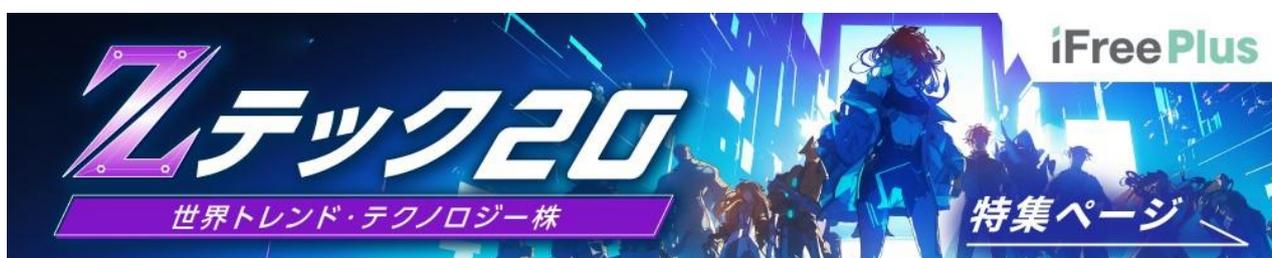
### 取り扱い販売会社

SBI証券

楽天証券

マネックス証券

※2024年12月11日時点



### ファンドの目的・特色

#### ファンドの目的

日本を除く世界の株式の中からテクノロジー関連企業の株式に投資し、信託財産の成長をめざします。

## iFreePlus世界トレンド・テクノロジー株 (Zテック20)

※お申込みの際は、必ず「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

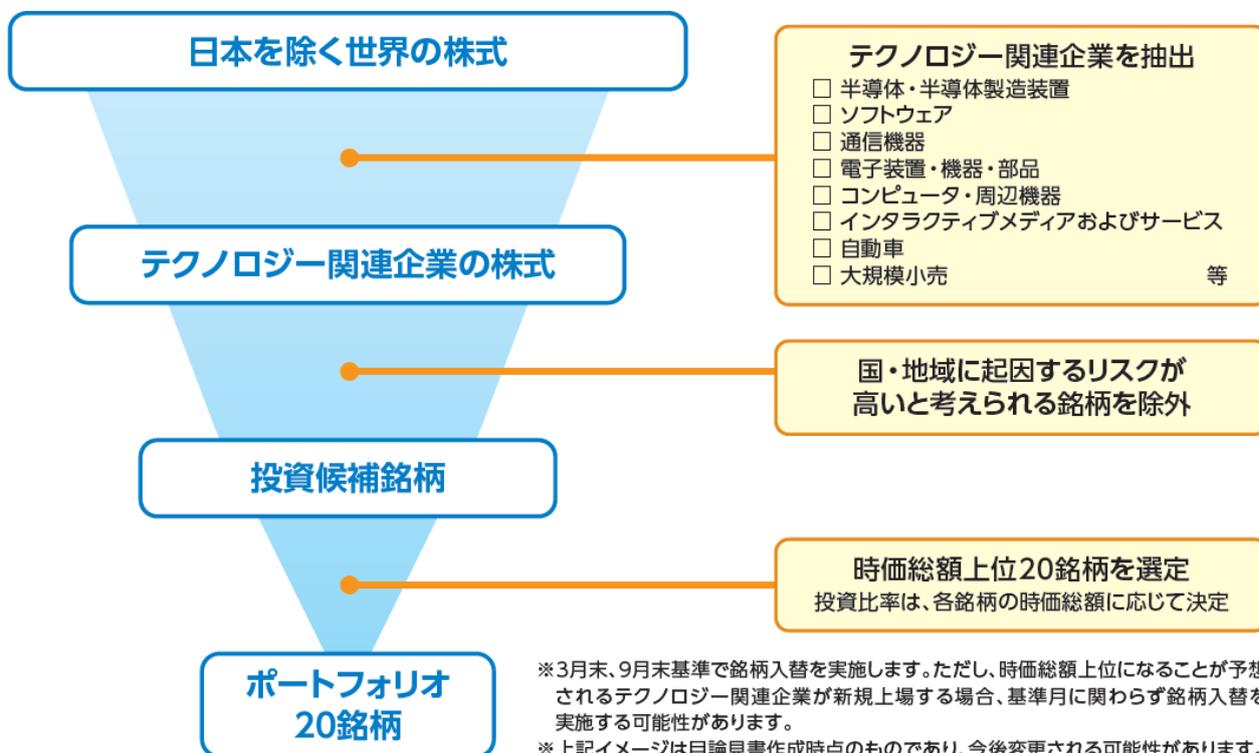
### ファンドの特色

**1** 日本を除く世界の株式の中からテクノロジー関連企業の株式に投資します。

運用にあたっては、以下の方針を基本とします。

- 日本を除く世界の株式の中から、テクノロジー関連企業を抽出した後、国・地域に起因するリスクが高いと考えられる銘柄を除外し、時価総額上位20銘柄に投資を行います。
- 上位20銘柄への投資比率は、各銘柄の時価総額に応じて決定することを基本とします。

### ポートフォリオ構築のイメージ



\* 効率性の観点からETF（上場投資信託証券）に投資する場合があります。

(注) 「株式」…金融商品取引所上場株式および店頭登録株式  
(上場予定および店頭登録予定を含みます。また、DR(預託証券)を含みます。)

## iFreePlus世界トレンド・テクノロジー株 (Zテック20)

※お申込みの際は、必ず「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

- 一般社団法人投資信託協会が定める「信用リスク集中回避のための投資制限」（分散投資規制）では、投資対象に支配的な銘柄が存在するまたは存在する可能性が高いファンドを特化型運用ファンドとしています。支配的な銘柄とは、次のいずれかの割合が10%を超える銘柄をいいます。
  - ・ 投資対象候補銘柄の時価総額に占めるその銘柄の時価総額の割合
  - ・ 運用管理等に用いる指数に占めるその銘柄の構成割合
- 当ファンドは、主要投資対象に支配的な銘柄が存在するまたは存在する可能性が高い特化型運用ファンドです。このため、特定の銘柄へ投資が集中することがあり、発行体に経営破綻や経営・財務状況の悪化などが生じた場合には、大きな損失が発生することがあります。

- ・ 株式の組入比率は、通常の状態でも高位に維持することを基本とします。
- ・ 運用の効率化をはかるため、株価指数先物取引等を利用することがあります。このため、株式の組入総額と株価指数先物取引等の買建玉の時価総額の合計額が、信託財産の純資産総額を超えることがあります。
- ・ 為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。

- ・ デリバティブ取引（法人税法第61条の5で定めるものをいいます。）は、信託財産の資産または負債にかかる価格変動、金利変動および為替変動により生じるリスクを減じる目的ならびに投資の対象とする資産を保有した場合と同様の損益を実現する目的以外には利用しません。

- ・ 当初設定日直後、大量の追加設定または解約が発生したとき、市況の急激な変化が予想されるとき、償還の準備に入ったとき等ならびに信託財産の規模によっては、ファンドの特色1.の運用が行なわれないことがあります。

## 2 毎年12月10日(休業日の場合翌営業日)に決算を行ない、収益分配方針に基づいて収益の分配を行ないます。

(注) 第1計算期間は、2025年12月10日(休業日の場合翌営業日)までとします。

### 〈分配方針〉

- ① 分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とします。
- ② 原則として、信託財産の成長に資することを目的に、配当等収益の中から基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、配当等収益が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。

※ 将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

### 主な投資制限

- 株式という資産全体の投資割合には、制限を設けません。
- 投資信託証券（上場投資信託証券を除きます。）への投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以下とします。
- 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。

## iFreePlus世界トレンド・テクノロジー株 (Zテック20)

※お申込みの際は、必ず「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

### 投資リスク

#### 基準価額の変動要因

- 当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資元本が保証されているものではなく、これを割込むことがあります。 信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。
- 投資信託は預貯金とは異なります。

〈主な変動要因〉

 株 価 の 変 動 (価格変動リスク・ 信用リスク)	株価は、政治・経済情勢、発行企業の業績、市場の需給等を反映して変動します。発行企業が経営不安、倒産等に陥った場合には、投資資金が回収できなくなることもあります。組入銘柄の株価が下落した場合には、基準価額が下落する要因となり、投資元本を割込むことがあります。 当ファンドは、一銘柄当たりの組入比率が高くなる場合があり、より多数の銘柄に分散投資した場合に比べて基準価額の変動が大きくなる可能性があります。また、特定の分野に関連する銘柄に投資しますので、こうした銘柄の下落局面では、基準価額が大きく下落することがあります。
 為 替 変 動 リ ス ク	外貨建資産については、資産自体の価格変動のほか、当該外貨の円に対する為替レートの変動の影響を受けます。組入外貨建資産について、当該外貨の為替レートが円高方向に進んだ場合には、基準価額が下落する要因となり、投資元本を割込むことがあります。
 カ ン ト リ ー ・ リ ス ク	投資対象国・地域において、政治・経済情勢の変化等により市場に混乱が生じた場合、または取引に対して新たな規制が設けられた場合には、基準価額が予想外に下落したり、方針に沿った運用が困難となることがあります。
そ の 他	解約資金を手当てするため組入証券を売却する際、市場規模や市場動向によっては市場実勢を押下げ、当初期待される価格で売却できないこともあります。この場合、基準価額が下落する要因となります。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

#### その他の留意点

- 当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリング・オフ）の適用はありません。
- 当ファンドは、大量の解約が発生し短時間で解約資金を手当てする必要性が生じた場合や主たる取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価格で取引できないリスク、取引量が限られてしまうリスクがあります。  
これにより、基準価額にマイナスの影響を及ぼす可能性や、換金の申込みの受付が中止となる可能性、換金代金のお支払いが遅延する可能性があります。

## iFreePlus世界トレンド・テクノロジー株 (Zテック20)

※お申込みの際は、必ず「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

### ■ ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用		
	料率等	費用の内容
購入時手数料	販売会社が別に定める率 ※徴収している販売会社はありません。	—
信託財産留保額	ありません。	—
投資者が信託財産で間接的に負担する費用		
	料率等	費用の内容
運用管理費用 (信託報酬)	年率0.495% (税抜0.45%)	運用管理費用の総額は、日々の信託財産の純資産総額に対して左記の率を乗じて得た額とします。運用管理費用は、毎日計上され日々の基準価額に反映されます。
配分 (税抜) (注1)	委託会社	年率0.215%
	販売会社	年率0.215%
	受託会社	年率0.02%
その他の費用・ 手数料	(注2)	監査報酬、有価証券売買時の売買委託手数料、先物取引・オプション取引等に要する費用、資産を外国で保管する場合の費用等を信託財産でご負担いただきます。

(注1)「運用管理費用の配分」には、別途消費税率を乗じた額がかかります。

(注2)「その他の費用・手数料」については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。

※運用管理費用の信託財産からの支払いは、毎計算期間の最初の6か月終了日（休業日の場合翌営業日）および毎計算期末または信託終了時に行なわれます。

※手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。また、上場投資信託証券は市場価格により取引されており、費用を表示することができません。

## iFreePlus世界トレンド・テクノロジー株 (Zテック20)

※お申込みの際は、必ず「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

### お申込みメモ

 購入時	購入単位	最低単位を1円単位または1口単位として販売会社が定める単位
	購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額（1万口当たり）
	購入代金	販売会社が定める期日までにお支払い下さい。

 換金時	換金単位	最低単位を1口単位として販売会社が定める単位
	換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額（1万口当たり）
	換金代金	原則として換金申込受付日から起算して5営業日目からお支払いします。

 申込について	申込受付中止日	① ニューヨーク証券取引所またはナスダック（米国）の休業日 ② ①のほか、一部解約金の支払い等に支障を来すおそれがあるとして委託会社が定める日 (注) 申込受付中止日は、販売会社または委託会社にお問合わせ下さい。
	申込締切時間	原則として、午後3時30分まで（販売会社所定の事務手続きが完了したもの） なお、販売会社によっては異なる場合がありますので、くわしくは販売会社にお問合わせ下さい。
	購入の申込期間	2024年12月11日から2026年3月3日まで (終了前に有価証券届出書を提出することにより更新されます。)
	換金制限	信託財産の資金管理を円滑に行なうために大口の換金申込みには制限があります。
	購入・換金申込受付の中止および取消し	金融商品取引所等における取引の停止、外国為替取引の停止その他やむを得ない事情が発生した場合には、購入、換金の申込みの受け付けを中止すること、すでに受付けた購入、換金の申込みを取消すことがあります。

 その他	信託期間	無期限（2024年12月11日当初設定）
	繰上償還	次のいずれかの場合には、委託会社は、事前に受益者の意向を確認し、受託会社と合意のうえ、信託契約を解約し、信託を終了（繰上償還）できます。 ・受益権の口数が30億口を下ることとなった場合 ・信託契約を解約することが受益者のため有利であると認めるとき ・やむを得ない事情が発生したとき
	決算日	毎年12月10日（休業日の場合翌営業日） (注) 第1計算期間は、2025年12月10日（休業日の場合翌営業日）までとします。
	収益分配	年1回、収益分配方針に基づいて収益の分配を行ないます。 (注) 当ファンドには、「分配金再投資コース」と「分配金支払いコース」があります。なお、お取扱い可能なコースおよびコース名については異なる場合がありますので、販売会社にお問合わせ下さい。
	信託金の限度額	1兆円
	公告	電子公告の方法により行ない、ホームページ [https://www.daiwa-am.co.jp/] に掲載します。
	運用報告書	毎計算期末および償還時に作成し、交付運用報告書をあらかじめお申出いただいたご住所にお届けします。また、電子交付を選択された場合には、所定の方法により交付します。
	課税関係	課税上は株式投資信託として取扱われます。配当控除、益金不算入制度の適用はありません。公募株式投資信託は税法上、一定の要件を満たした場合にNISA（少額投資非課税制度）の適用対象となります。 当ファンドは、NISAの「成長投資枠（特定非課税管理勘定）」の対象ですが、販売会社により取扱いが異なる場合があります。くわしくは、販売会社にお問合わせ下さい。 ※2024年9月末現在のものであり、税法が改正された場合等には変更される場合があります。

# 大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

## 〈委託会社〉

商号等 大和アセットマネジメント株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第352号  
加入協会 一般社団法人投資信託協会  
一般社団法人日本投資顧問業協会  
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

## 当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和アセットマネジメント株式会社が作成したものです。
- 当ファンドのお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書（交付目論見書）」の内容を必ずご確認ください。
- 投資信託は値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって、投資元本が保証されているものではありません。信託財産に生じた利益および損失はすべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。
- 投資信託は預金や保険契約とは異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。証券会社以外でご購入いただいた投資信託は投資者保護基金の対象ではありません。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。また、税金、手数料等を考慮しておりませんので、投資者の皆さまの実質的な投資成果を示すものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。記載する投資判断は現時点のものであり、将来の市況環境の変動等を保証するものではありません。
- 当資料中で個別企業名が記載されている場合、あくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。
- 分配金は収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。